

日本と中国の高校生140名が中国で再会 さらに友好促進へ 「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」を実施

公益財団法人イオンワンパーセントクラブ（以下、当財団）は、10月9日（日）から9日間、中華人民共和国（以下、中国）の北京市・武漢市・青島市の3都市にて、中国と日本の高校生が交流を深める「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」を実施します。

当財団は「諸外国との友好親善の促進」を事業目的の1つとして掲げ、1990年より、アジア各国と日本の高校生が互いの国への訪問を通じて交流する「ティーンエイジ アンバサダー」事業を実施しています。中国とは2009年より毎年継続して取り組んでおり、今回を含め累計1,050名が日本と中国をつなぐ小大使として交流を深めてきました。

この度の交流は、本年7月に日本で行われた招聘プログラムに続き、東京都及び千葉県・大分県・北海道の高校生計70名が北京市、武漢市、青島市に分かれて訪問を行うものです。交流ペアと再会するとともに、北京市政府への表敬訪問やカンフー体験、ホームステイなど、中国の歴史・文化や価値観に触れる活動を行い、さらなる相互理解と友好関係の深耕を図ります。また、在中国日本大使館が定める「日中交流集中月間」である今月は、当事業のほか、公益財団法人イオン環境財団により、15日に北京市で「中国北京市密雲植樹」が、16日に武漢市で小中学校への太陽光発電システム贈呈が行われ、それぞれの都市で活動する日中の小大使たちが参加します。

当財団はこれからも、日本と中国の未来を担う若者に相互理解を深める機会を提供し、両国の友好親善の促進に寄与してまいります。

【7月に日本で行われた「日本 中国 ティーンエイジ アンバサダー」の様子】



首相官邸にて萩生田内閣官房副長官（右端）を表敬訪問



日本の高校でペア学生とともに授業を体験する中国人学生（右）

【プログラム概要】

1. 期 間：10月9日(日)～17日(月)
2. 実施地域：北京市、武漢市、青島市
3. 参加者：日本（東京都、千葉県、大分県、北海道）の高校生 計70名
中国（北京市、武漢市、青島市）の高校生 計70名
4. 交流ペア：

チーム①	北京市（30名）と	東京都	筑波大学附属高等学校（20名）
		千葉県	千葉市立千葉高等学校（10名）
チーム②	武漢市（20名）と	大分県	岩田高等学校（20名）
チーム③	青島市（20名）と	北海道	札幌日本大学高等学校（20名）
5. 行動予定：

10月	9日(日)	移動日
10月	10日(月)	オリエンテーション、北京市人民政府への表敬訪問、 日本大使館での質問会・歓迎会
10月	11日(火)	万里の長城見学、中国外交部への表敬訪問
10月	12日(水)	※以降、チームごとに分かれて交流
		チーム① 北京企画展覽館・国家大劇場見学、中国カンフー体験
		チーム② 武漢市人民政府への表敬訪問
		チーム③ 青島市人民政府への表敬訪問
10月	13日(木)	
		チーム① APEC会議センター見学、七宝焼き作り体験、伝統芸術鑑賞
		チーム② 長江三峡クルーズ、三峡ダム見学
		チーム③ 青島大学留学センター見学、日本語授業体験への参加、伝統工芸品づくり
10月	14日(金)	授業体験・ホームステイ
10月	15日(土)	ホームステイ
		※1 北京市チームは「中国北京市密雲植樹」へ参加
10月	16日(日)	ホームステイ・フェアウェルパーティ
		※2 武漢市チームは小中学校への太陽光発電システム贈呈式へ参加
		※1・2ともに公益財団法人イオン環境財団主催
10月	17日(月)	帰国